



人事評価の中で、結果のみを評価の対象とするのではなく、「結果+プロセス」を評価の対象とすることの重要性について人事コンサルよりお話をさせていただきます。また、労務コンサルからは10月から改訂となる最低賃金について御紹介いたします。

【結果とプロセス】を評価することの意義

ML 人事評価

「成果」とは何でしょうか？絶対的な正解がある問いではありません。個々人によって成果の捉え方は異なるかと思いますが、私は成果を「結果+プロセス（行動）」と考えています。もちろん、結果を評価することは非常に重要ですし、結果のみで評価するという企業様も一定数いらっしゃいます。さらに言えば、結果だけの評価であれば基準が明確でシンプルというメリットもあります。しかし一方で、100%結果のみで評価することはいくつかのデメリットがあります。

主なデメリットは以下の4点です。

- 人事制度が社員育成のツールとなり得ず、社員の指導育成が行われにくい。
- 目先の結果を意識するあまり短期的視点に陥りがちになる（中長期的視点が疎かになる）。
- 結果偏重となるあまり、利己主義やチームワーク欠落の恐れがある。
- 結果のみの場合、外的要因の影響が大きい。

人材育成の観点で言えば、安定的に成果を創出することができる、再現性を持ったパフォーマンスを発揮できる人材を育成していくべきと言えます。

そのためには結果だけでなく、どのようにその結果に至ったのかというプロセスも含めた多面的な評価を行うことが望ましいと考えます。

具体的には、いわゆる結果目標だけでなく、結果の創出確度を高めるための行動目標を併せて設定したり、日々の業務姿勢を評価する項目を別途盛り込む等の方法で、プロセス部分を評価すると良いでしょう。

経営層/人事責任者必見

中小企業こそ人事評価制度を！
制度構築の手順と
導入時のポイントとは？

即視聴可能 | 所要時間50分

今すぐ視聴する



株式会社ミナジ
人事評価制度構築
コンサルタント
川崎 健史

動画で学ぶ！中小企業の人事評価制度、構築手順および導入時のポイント

「人材育成/定着に課題を感じている」「人事評価制度の導入を検討している」といった中小企業の経営層や人事部門責任者の皆様におすすめです。この機会にぜひ、人事評価制度についての理解を深めていただければと思います。⇒[視聴申込はこちら](#)

令和6年度の地域別最低賃金の改定状況

—すべての都道府県で出揃う！

令和6年度の地域別最低賃金について、各地方最低賃金審議会での答申が出揃い、その結果が厚生労働省から公表されました。これによると、中央最低賃金審議会が示した目安額を超える改定が47都道府県中27県で答申されており、全国加重平均額も、**目安額として示された1,054円を上回る「1,055円」となっています。**発効年月日とともに、最寄りの地域の地域別最低賃金の額をご確認ください。

★これだけ大幅な引き上げなので、最低賃金割れが増えることが懸念されています。月給制の場合、所定のルールにより時給換算して、最低賃金額と比較する必要がありますので注意が必要です。気軽にご相談ください。

★今後、都道府県労働局での関係労使からの異議申出に関する手続を経た上で、都道府県労働局長の決定により、順次発効される予定です。最終的に決定された金額を必ず確認するようにしましょう。

■令和6年度の地域別最低賃金の改定状況の一覧

都道府県名	最低賃金時間額 ()は前年度	発効年月日	都道府県名	最低賃金時間額 ()は前年度	発効年月日
北海道	1010円 (960円)	令和6年10月1日	滋賀	1017円 (967円)	令和6年10月1日
青森	953円 (898円)	令和6年10月5日	京都	1058円 (1008円)	令和6年10月1日
岩手	952円 (893円)	令和6年10月27日	大阪	1114円 (1064円)	令和6年10月1日
宮城	973円 (923円)	令和6年10月1日	兵庫	1052円 (1001円)	令和6年10月1日
秋田	951円 (897円)	令和6年10月1日	奈良	986円 (936円)	令和6年10月1日
山形	955円 (900円)	令和6年10月19日	和歌山	980円 (929円)	令和6年10月1日
福島	955円 (900円)	令和6年10月5日	鳥取	957円 (900円)	令和6年10月5日
茨城	1005円 (953円)	令和6年10月1日	島根	962円 (904円)	令和6年10月12日
栃木	1004円 (954円)	令和6年10月1日	岡山	982円 (932円)	令和6年10月2日
群馬	985円 (935円)	令和6年10月4日	広島	1020円 (970円)	令和6年10月1日
埼玉	1078円 (1028円)	令和6年10月1日	山口	979円 (928円)	令和6年10月1日
千葉	1076円 (1026円)	令和6年10月1日	徳島	980円 (896円)	令和6年11月1日
東京	1163円 (1113円)	令和6年10月1日	香川	970円 (918円)	令和6年10月2日
神奈川	1162円 (1112円)	令和6年10月1日	愛媛	956円 (897円)	令和6年10月13日
新潟	985円 (931円)	令和6年10月1日	高知	952円 (897円)	令和6年10月9日
富山	998円 (948円)	令和6年10月1日	福岡	992円 (941円)	令和6年10月5日
石川	984円 (933円)	令和6年10月5日	佐賀	956円 (900円)	令和6年10月17日
福井	984円 (931円)	令和6年10月5日	長崎	953円 (898円)	令和6年10月12日
山梨	988円 (938円)	令和6年10月1日	熊本	952円 (898円)	令和6年10月5日
長野	998円 (948円)	令和6年10月1日	大分	954円 (899円)	令和6年10月5日
岐阜	1001円 (950円)	令和6年10月1日	宮崎	952円 (897円)	令和6年10月5日
静岡	1034円 (984円)	令和6年10月1日	鹿児島	953円 (897円)	令和6年10月5日
愛知	1077円 (1027円)	令和6年10月1日	沖縄	952円 (896円)	令和6年10月9日
三重	1023円 (973円)	令和6年10月1日	全国加重平均	1055円 (1004円)	